

令和5年度Uターン・Iターン者の状況について

1. 概要

Uターン・Iターン者は、「県外から島根県に転入し、転入市町村に5年以上居住する意思のある者」と定義し、平成27年度から独自に調査を実施

(1) R5年度Uターン・Iターン者数

(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R 5	2,016	1,405	41	3,462
R 4	2,010	1,403	50	3,463
対前年度	6	2	▲ 9	▲ 1
対前年度比	100%	100%	82%	100%

○ 令和5年度は、総数では3,462人で対前年度1人の減となった。

〔日本人・外国人の内訳〕

■ 日本人のみ

(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R 5	1,954	1,145	35	3,134
R 4	1,946	1,220	43	3,209
対前年度	8	▲ 75	▲ 8	▲ 75
対前年度比	100%	94%	81%	98%

○ 令和5年度は、総数では3,134人で対前年度75人の減となった。

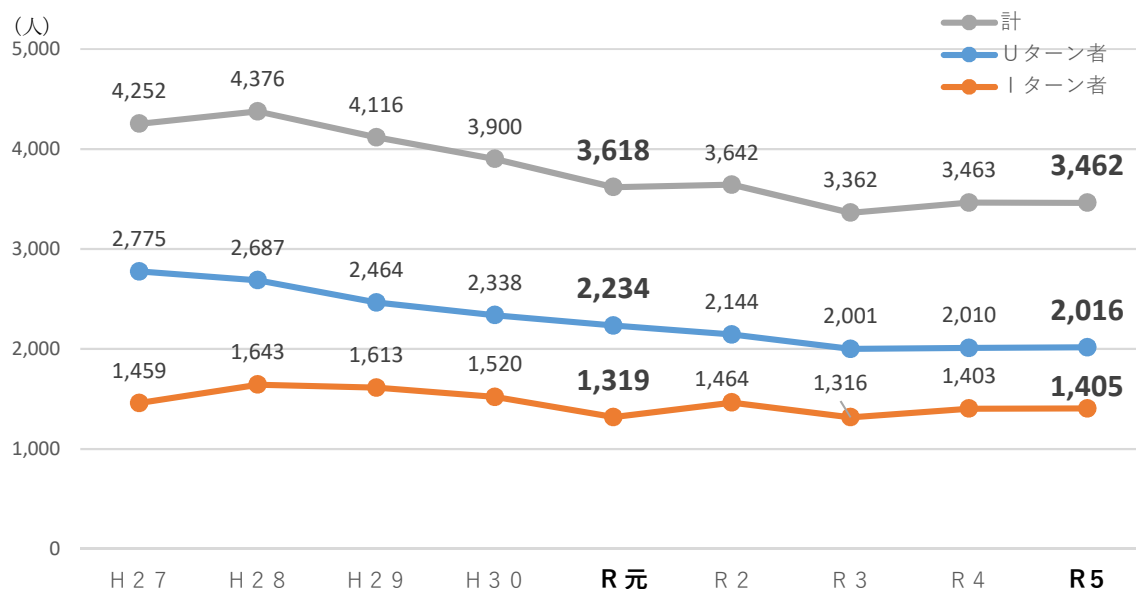
■ 外国人のみ

(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R 5	62	260	6	328
R 4	64	183	7	254
対前年度	▲ 2	77	▲ 1	74
対前年度比	97%	142%	86%	129%

○ 令和5年度は、総数では328人で対前年度74人の増となった。

(2) 年度別Ｕターン・Ｉターン者数の推移（H27年度～R5年度）



- Ｕターン者数は全体の約６割（５８％）、Ｉターン者数は約４割（４１％）という構成に大きな変化はない。
- Ｕターン者数は、令和元年度に比べ、減少傾向にある。
- Ｉターン者数は、令和元年度に比べ、増加傾向にある。

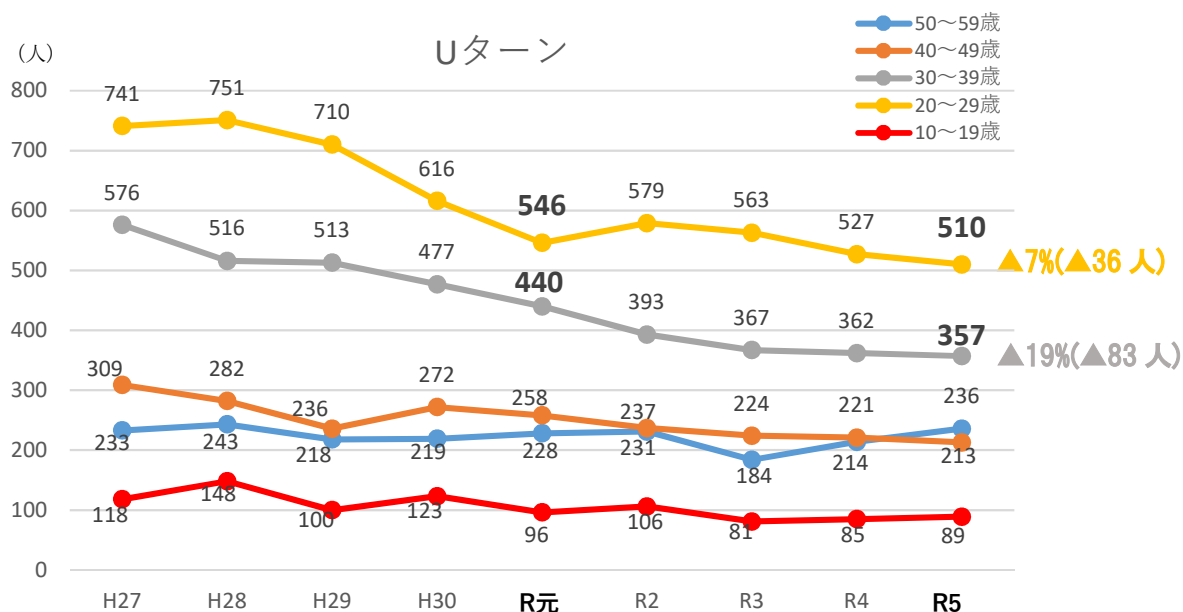
２．年代別Ｕターン・Ｉターン者の状況

(1) R5年度とR4年度の比較

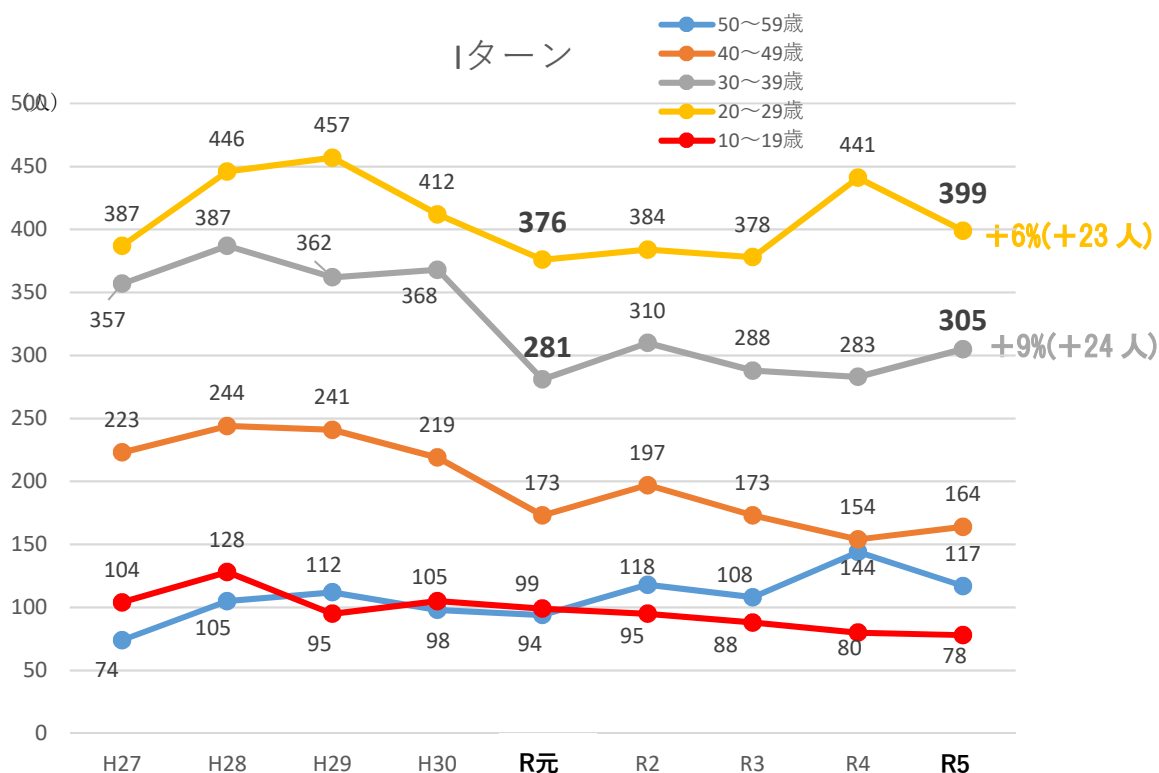
	Ｕターン者				Ｉターン者				計			
	R5	R4	対前年度	対前年度比	R5	R4	対前年度	対前年度比	R5	R4	対前年度	対前年度比
70歳以上	159	143	16	111%	121	99	22	122%	281	248	33	113%
60～69歳	215	232	▲ 17	93%	95	71	24	134%	314	303	11	104%
50～59歳	236	214	22	110%	117	144	▲ 27	81%	357	361	▲ 4	99%
40～49歳	213	221	▲ 8	96%	164	154	10	106%	386	382	4	101%
30～39歳	357	362	▲ 5	99%	305	283	22	108%	672	655	17	103%
20～29歳	510	527	▲ 17	97%	399	441	▲ 42	90%	917	976	▲ 59	94%
10～19歳	89	85	4	105%	78	80	▲ 2	98%	167	172	▲ 5	97%
10歳未満	237	226	11	105%	126	131	▲ 5	96%	368	366	2	101%
計	2,016	2,010	6	100%	1,405	1,403	2	100%	3,462	3,463	▲ 1	100%

- 20歳～30歳代が全体の約半数（R5：46％、R4：47％）を占める構造に変化はない。
※ R5：917人(20代)＋672人(30代)／3,462人≒46％
- 20歳代のＵターン・Ｉターン者数がいずれも減少し、合わせて59人減少した。
- 30歳代のＵターン者数は5人減少した一方で、Ｉターン者数は22人増加した。

(2) 年代別のUターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R5年度)

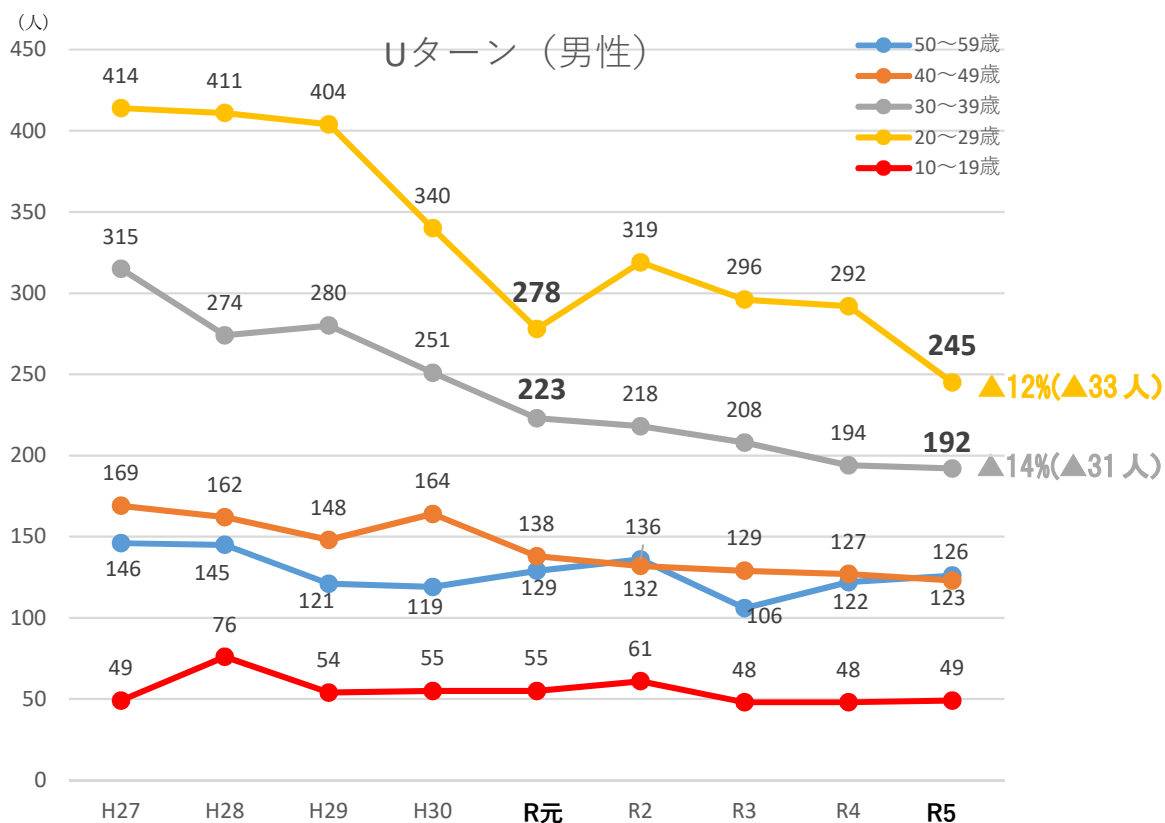


- Uターン者数は令和元年度に比べ、20歳代、30歳代を除き横ばいであるが、20歳代（▲7%）は微減、30歳代（▲19%）は減少が大きい。

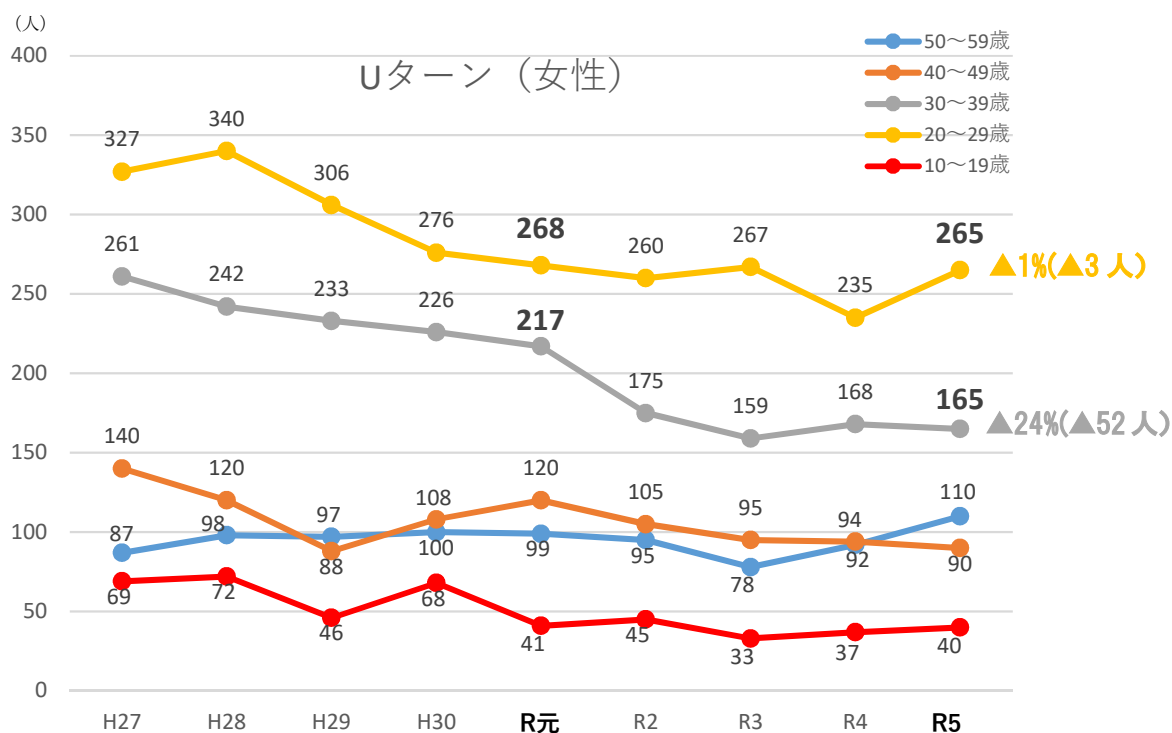


- Iターン者数は令和元年度に比べ、ほとんどの年代で横ばいであるが、20歳代（+6%）、30歳代（+9%）ともに微増した。

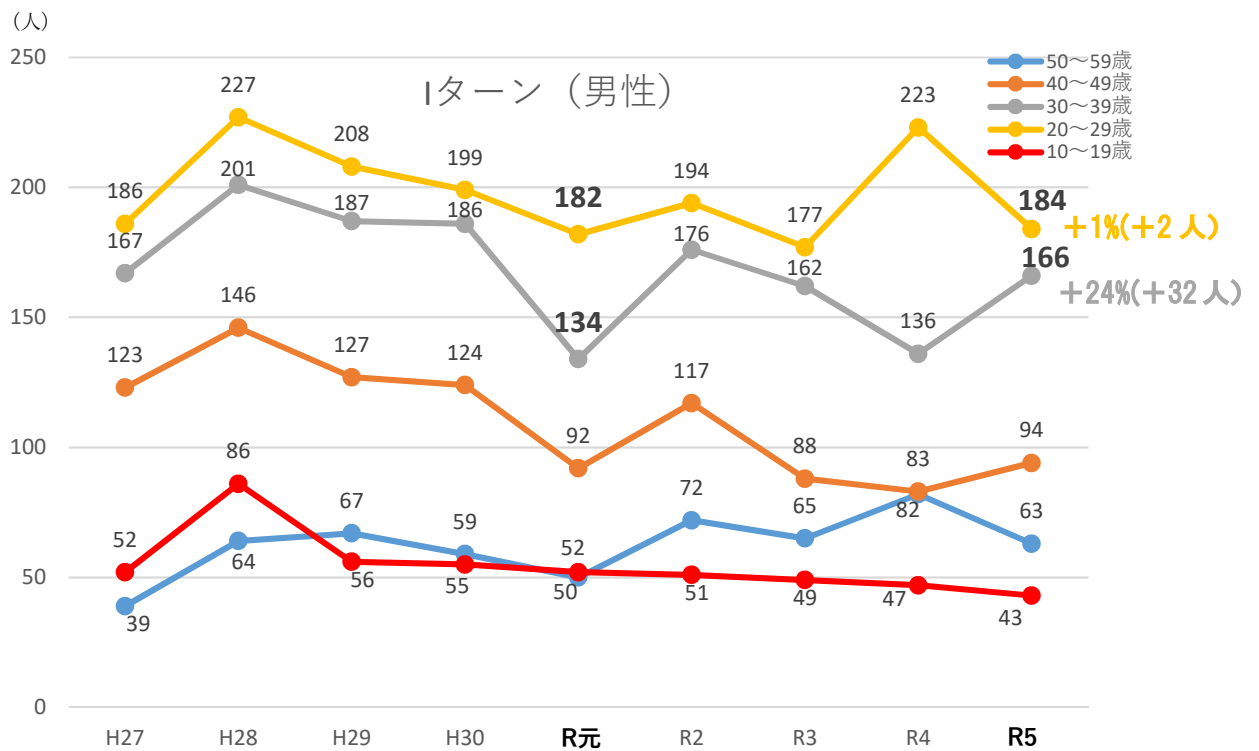
(3) 年代別×性別のUターン・Iターン者数の推移（H27年度～R5年度）



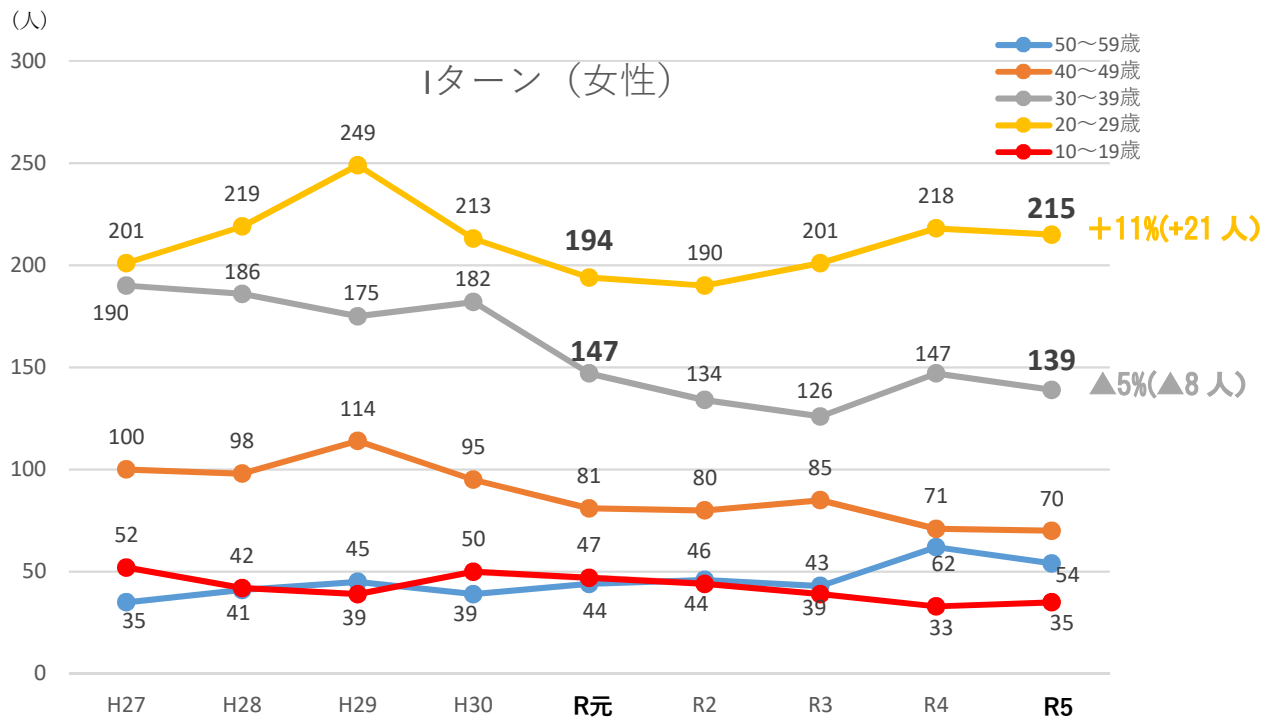
- Uターンの男性は令和元年度に比べ、20歳代、30歳代を除き横ばいであるが、20歳代（▲12%）、30歳代（▲14%）ともに減少が大きい。



- Uターンの女性は令和元年度に比べ、30歳代を除き横ばいであるが、30歳代（▲24%）は減少が大きい。



○ Iターンの男性は令和元年度に比べ、ほとんどの年代で横ばいであるが、30歳代（+24%）は増加が大きい。



○ Iターンの女性は令和元年度に比べ、ほとんどの年代で横ばいであるが、20歳代（+11%）は増加が大きい。

(4) 年代別の転入理由（上位３項目）

■ Ｕターン者

理由別	男性						女性					
	1		2		3		1		2		3	
70歳以上	退職・家族の事情	56%	その他	25%	住宅	15%	退職・家族の事情	62%	その他	27%	住宅	10%
60～69歳	退職・家族の事情	65%	住宅	12%	転勤	9%	退職・家族の事情	71%	その他	11%	住宅	10%
50～59歳	退職・家族の事情	39%	転勤	29%	その他	12%	退職・家族の事情	51%	その他	13%	転勤	9%
40～49歳	転勤	32%	退職・家族の事情	25%	転職・転業	20%	退職・家族の事情	36%	転勤	20%	転職・転業	12%
30～39歳	転職・転業	29%	転勤	24%	退職・家族の事情	18%	転勤	24%	結婚・離婚等	21%	転職・転業他	15%
20～29歳	就職	30%	転職・転業	25%	退職・家族の事情	19%	就職	29%	転職・転業	20%	退職・家族の事情	18%
10～19歳	退職・家族の事情	31%	就学・卒業	24%	転勤	14%	退職・家族の事情	28%	結婚・離婚等	18%	転職・転業他	13%
10歳未満	結婚・離婚等	27%	転勤	21%	退職・家族の事情	15%	転勤	25%	結婚・離婚等	25%	退職・家族の事情	17%

■ Ｉターン者

理由別	男性						女性					
	1		2		3		1		2		3	
70歳以上	退職・家族の事情	43%	その他	26%	住宅	22%	退職・家族の事情	57%	その他	21%	住宅	16%
60～69歳	退職・家族の事情	33%	その他	18%	転勤	16%	退職・家族の事情	52%	住宅	20%	その他	18%
50～59歳	転勤	35%	転職・転業	24%	退職・家族の事情	13%	退職・家族の事情	22%	転職・転業	17%	転勤	15%
40～49歳	転職・転業	27%	転勤	22%	就職	19%	結婚・離婚等	21%	転勤	16%	転職・転業	14%
30～39歳	転職・転業	24%	転勤	22%	就職	22%	結婚・離婚等	24%	就職	21%	転勤	17%
20～29歳	就職	52%	転職・転業	17%	転勤他	9%	就職	33%	結婚・離婚等	30%	転職・転業	12%
10～19歳	就学・卒業等	51%	就職	23%	退職・家族の事情	9%	就学・卒業等	49%	退職・家族の事情	14%	その他	14%
10歳未満	転職・転業	29%	退職・家族の事情	24%	転勤	16%	退職・家族の事情	33%	転職・転業	19%	住宅	12%

○ 20歳代、30歳代のＵターン者、Ｉターン者ともに転入理由については「仕事」に関するものが多い。

3. 地域別Uターン・Iターン者数

(1) R5 年度と R4 年度の比較

(単位：人)

	Uターン者				Iターン者				計			
	R5	R4	対前年度	対前年度比	R5	R4	対前年度	対前年度比	R5	R4	対前年度	対前年度比
北海道	9	13	▲ 4	69%	8	18	▲ 10	44%	17	31	▲ 14	55%
東北	26	21	5	124%	28	18	10	156%	55	41	14	134%
北関東	14	22	▲ 8	64%	12	17	▲ 5	71%	26	39	▲ 13	67%
南関東	358	367	▲ 9	98%	237	222	15	107%	599	595	4	101%
北陸・甲信越	15	29	▲ 14	52%	27	35	▲ 8	77%	42	65	▲ 23	65%
東海	97	90	7	108%	77	66	11	117%	176	156	20	113%
東近畿	37	26	11	142%	27	26	1	104%	64	58	6	110%
西近畿	406	376	30	108%	214	237	▲ 23	90%	624	618	6	101%
中国	836	841	▲ 5	99%	504	499	5	101%	1,362	1,358	4	100%
四国	59	43	16	137%	28	46	▲ 18	61%	87	89	▲ 2	98%
九州・沖縄	81	107	▲ 26	76%	97	102	▲ 5	95%	180	213	▲ 33	85%
国外	78	75	3	104%	146	117	29	125%	230	200	30	115%
計	2,016	2,010	6	100%	1,405	1,403	2	100%	3,462	3,463	▲ 1	100%

注) Uターン者、Iターン者とは別に「不明者」がいるため、合計の合わない場合がある。

○ 中国地方、西近畿、南関東の3地域でUターン・Iターン者数の 3/4 (75%) を占めている。

※ R5 : 1,362 人(中国) + 624 人(西近畿) + 599 人(南関東) / 3,462 人 ≒ 75%

○ 上記3地域でのUターン・Iターン者数は、中国地方 (+4 人)、西近畿 (+6 人)、南関東 (+4 人) と概ね前年度並みであった。

○ 減少数が大きいのは、九州・沖縄 (▲33 人) であった。

【地域区分】 ※ 下線は各地域内でUターン・Iターン者数が最も多かった都道府県

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸・甲信越：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、

東近畿：滋賀県、奈良県、和歌山県

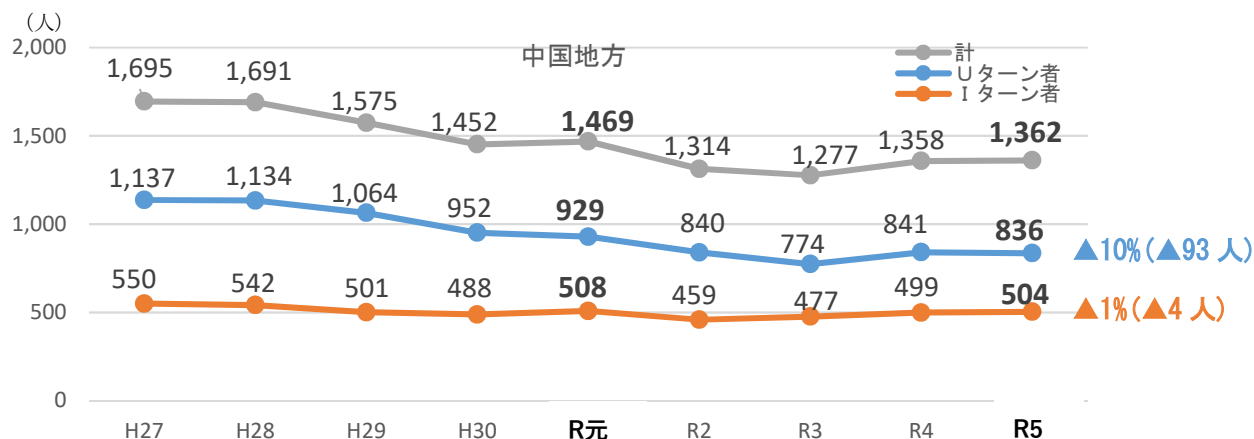
西近畿：京都府、大阪府、兵庫県

中国：鳥取県、(※島根県は除く)、岡山県、広島県、山口県

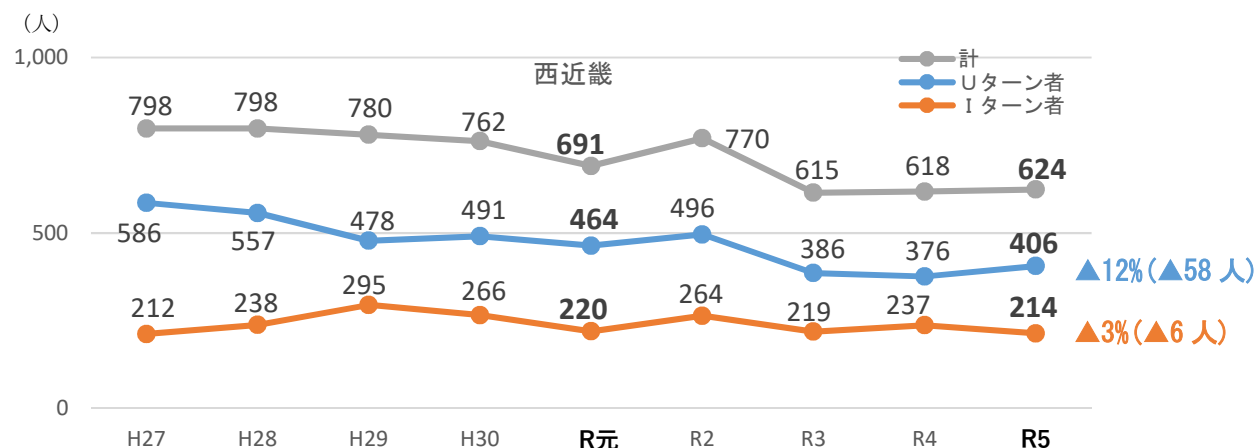
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

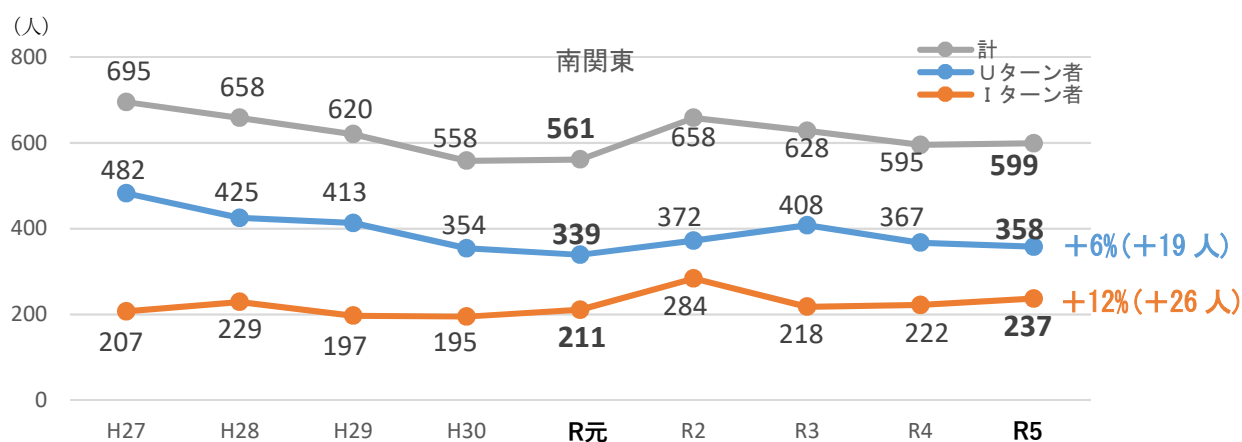
(2) 地域別Uターン・Iターン者数の推移（上位3地域）（H27年度～R5年度）



○ 中国地方は、令和元年度以降、Uターン者数（▲10%）は減少傾向だが、Iターン者数（▲1%）は概ね横ばいである。



○ 西近畿は、令和元年度以降、Uターン者数（▲12%）は減少傾向だが、Iターン者数（▲3%）は概ね横ばいである。



○ 南関東は、令和元年度以降、Uターン者数（+6%）、Iターン者数（+12%）ともに増加傾向にある。

4. 市町村別Ｕターン・Ｉターン者数

(1) R5 年度と R4 年度の比較

(単位：人)

	Ｕターン者				Ｉターン者				計				
	R5	R4	対前年度	対前年度比	R5	R4	対前年度	対前年度比	R5	R4	対前年度	対前年度比	Ｕターン・ Ｉターン者数 ／推計人口 (R6.4.1時点)
松江市	645	715	▲ 70	90%	402	472	▲ 70	85%	1,049	1,187	▲ 138	88%	0.53%
浜田市	128	135	▲ 7	95%	74	52	22	142%	203	192	11	106%	0.40%
出雲市	496	542	▲ 46	92%	467	413	54	113%	974	982	▲ 8	99%	0.57%
益田市	109	116	▲ 7	94%	57	92	▲ 35	62%	173	217	▲ 44	80%	0.41%
大田市	72	59	13	122%	51	62	▲ 11	82%	123	121	2	102%	0.40%
安来市	138	96	42	144%	55	59	▲ 4	93%	193	156	37	124%	0.55%
江津市	89	65	24	137%	48	46	2	104%	137	115	22	119%	0.64%
雲南市	78	72	6	108%	34	26	8	131%	123	98	25	126%	0.37%
奥出雲町	20	29	▲ 9	69%	20	11	9	182%	40	40	0	100%	0.37%
飯南町	13	10	3	130%	24	20	4	120%	37	30	7	123%	0.87%
川本町	12	1	11	1200%	20	3	17	667%	32	5	27	640%	1.06%
美郷町	14	13	1	108%	10	8	2	125%	28	21	7	133%	0.71%
邑南町	20	47	▲ 27	43%	11	25	▲ 14	44%	32	74	▲ 42	43%	0.34%
津和野町	40	27	13	148%	12	20	▲ 8	60%	54	47	7	115%	0.86%
吉賀町	53	10	43	530%	57	11	46	518%	112	21	91	533%	2.03%
海士町	7	14	▲ 7	50%	12	15	▲ 3	80%	19	29	▲ 10	66%	0.87%
西ノ島町	16	10	6	160%	12	23	▲ 11	52%	28	33	▲ 5	85%	1.10%
知夫村	0	2	▲ 2	0%	0	0	0	0%	0	2	▲ 2	0%	0.00%
隠岐の島町	66	47	19	140%	39	45	▲ 6	87%	105	93	12	113%	0.83%
計	2,016	2,010	6	100%	1,405	1,403	2	100%	3,462	3,463	▲ 1	100%	0.54%

注) Ｕターン者、Ｉターン者とは別に「不明者」がいるため、合計の合わない場合がある。

○ Ｕターン・Ｉターン者数の増減が大きい市町村

区分	Ｕターン者	Ｉターン者	計
増 (+)	①吉賀町 (+43 人) ②安来市 (+42 人) ③江津市 (+24 人)	①出雲市 (+54 人) ②吉賀町 (+46 人) ③浜田市 (+22 人)	①吉賀町 (+91 人) ②安来市 (+37 人) ③川本町 (+27 人)
減 (▲)	①松江市 (▲70 人) ②出雲市 (▲46 人) ③邑南町 (▲27 人)	①松江市 (▲70 人) ②益田市 (▲35 人) ③邑南町 (▲14 人)	①松江市 (▲138 人) ②益田市 (▲44 人) ③邑南町 (▲42 人)

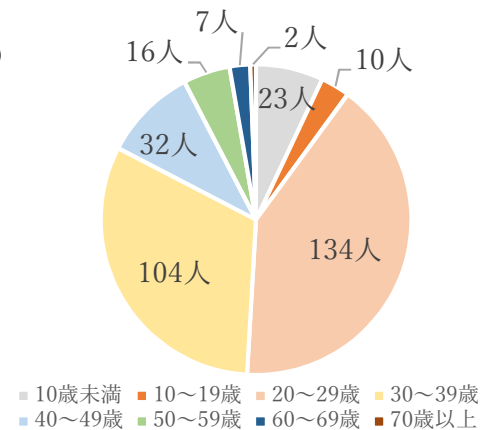
5. 外国人Uターン・Iターン者数

(1) 年代別

(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R5	62	260	6	328
R4	64	183	7	254
対前年度	▲ 2	77	▲ 1	74
対前年度比	97%	142%	86%	129%

年代別Uターン・Iターン者

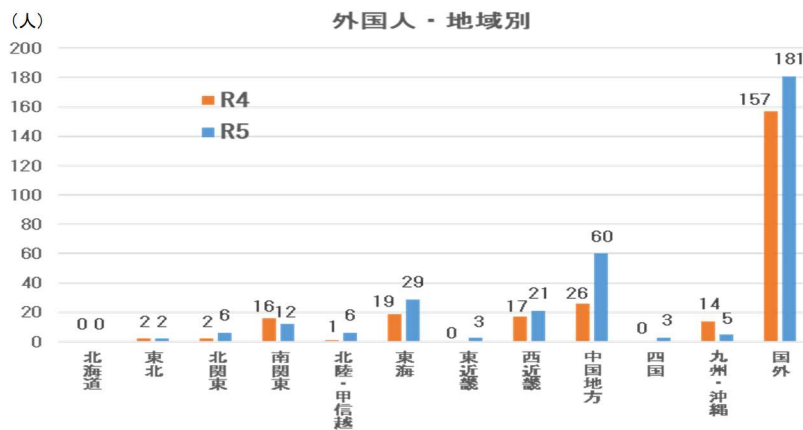


※ 1. (1) より再掲

○ 外国人のUターン・Iターン者数は328人で、Iターン者が79% (260人/328人) を占める。

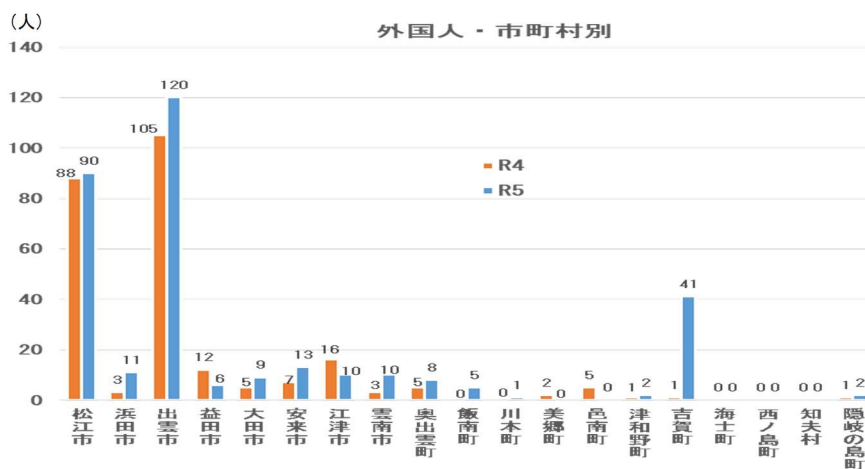
○ 年代別では、20歳代が134人と最も多い。

(2) 地域別



○ 地域別では、国外 (181人)、中国地方 (60人) が多い。

(3) 市町村別



○ 市町村別では、出雲市 (120人)、松江市 (90人)、吉賀町 (41人) が多い。